

第4回 新市まちづくり計画検討小委員会会議次第

と き 平成16年3月15日(月) 午後6時30分～
ところ 西脇市生涯学習まちづくりセンター

1 開会

2 委員長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 議事

主要指標の見通しについて 【 計画素案 P.48 ~ P.50 】

新市の都市構造について 【 計画素案 P.54 ~ P.55 】

新市の基本理念について 【 計画素案 P.52 】

新市の将来像について 【 資料 1 】

新市まちづくり計画（将来構想部分）の中間報告について 【 計画素案 】

5 次回の議題等について（予定）

新市の基本方針について

主要施策について

6 その他

次回の開催日程

日時 平成16年 月 日（ ）

場所 西脇市生涯学習まちづくりセンター

その他

7 閉会

新市まちづくり計画の構成内容と検討時期

項 目	内 容	検討時期
序 論		
合併の必要性 と効果	地方分権や少子高齢化などの社会潮流、地域活性化などの観点から合併の必要性を検討し、住民にとって不利益、不便が生じないような合併及び新市のまちづくりの留意点を整理する。	第2回小委員会 (1/29)
計画策定方針	計画の趣旨、構成、期間等について位置付ける。	第2回協議会 (12/19)
第1章 新市の概況		
地域の概況 ・特性	両市町の地勢・人口・世帯等の社会経済指標や生活環境指標の数値や推移を把握し、地域の現状分析を行う。	第2回小委員会 (1/29)
主要課題の 把握	両市町の既存の総合計画等から見た位置付け、住民意向調査調査、現況分析から新市の主要課題を把握する。	第2回小委員会 (1/29)
第2章 主要指標の見通し		
	新市の将来人口、年齢別人口、世帯数等の見通しを検討する。	第4回小委員会 (3/15)
第3章 新市のまちづくりの基本方針		
新市の将来像 ・基本理念	計画推進のための新市の基本理念・将来像を定め、まちづくりの方向性、目標を示す。	第3回・第4回 小委員会
新市まちづくり の基本方針	新市の将来像を実現するための基本方針を示す。	
新市の 都市構造	地域別の土地利用の現状、交通条件等に配慮し、長期的展望から見た新市の都市構造を示す。	第3回・第4回 小委員会
第4章 新市の施策		
施策体系	基本方針ごとに、より具体的な施策方針を定め、施策の体系化、施策展開の考え方を示し、主要事業の位置付けを行う。 (例) 産業の振興 都市基盤・生活基盤の整備 健康福祉の充実 自然環境と共生するまちづくり など	
事業推進	基本方針を実現するための新市事業・県事業を具体的に示す。	
第5章 公共的施設の適正配置と整備		
	住民サービスの低下を招かないように地域の実情と財政事情を勘案し、市役所をはじめとする公共施設の統合整備、適正配置、機能の充実の方向について示す。	
第6章 財政計画		
前提条件の 設定	過去の歳入・歳出の推移、合併による財政支援措置の活用を踏まえ、財政見通しの検討のための前提条件を設定する。	
歳入・歳出の 見通し	合併後の歳入、歳出に係る財政見通しを検討する。 (計画書掲載は合併後10年分、県提出資料は合併後15年分)	

新市の将来像について

3つの基本理念を踏まえ、協議会に提案する将来像の候補（3案程度）を選定していきます。

新市の将来像（案）

将来像（キャッチフレーズ）/意図・イメージ	
第1案	<p>豊かな心 輝く自然 うるおいと活力があふれる 北播磨の共生都市</p> <p>豊かな自然に包まれた うるおいと活力のあふれる 北播磨の共生都市</p>
	<p>新市は、加古川水系や緑の山々など恵まれた自然を有しており、その中で、市民一人ひとりがお互いを思いやり、豊かな心を持って暮らすことができるまちの創造をめざします。</p> <p>そして、自然をはじめとする地域資源とそこに暮らす人々の活動が結びつき、まちの潜在能力を引き出し、未来に向かって切り拓き、躍動するまちのイメージを含んでいます。</p>
第2案	<p>いのちイキイキ共生のまち にしわき</p> <p>いのちイキイキ 自然キラキラ 共生のまち 西脇</p>
	<p>市民一人ひとりが、お互いを思いやる心と命の大切さを尊重していくとともに、恵まれた自然環境を再認識し、人と人、人と自然が共生するまちを創造していきます。</p> <p>そして、住んでいる誰もが、「いのち」が「イキイキ」となるように、健やかで安心した生活を送ることができるまちづくりをすすめます。また、「自然」が「キラキラ」と輝くように、自然環境に配慮した社会の構築をめざします。</p> <p>上段のフレーズは、「いのち」に人と自然のどちらも含んでいます。</p> <p>へそのまち西脇が単なる地域中心ということだけではなく、「へそ＝母子のつながり＝生命の大切さ」という意味合いも言外に含んでいます。</p>
第3案	<p>みどり輝き ひと集う やさしさを育むまち にしわき</p>
	<p>豊かな自然に囲まれた良好な環境を生かすとともに、北播磨の交流拠点として、活気とにぎわいをより一層創出していくことで、人が集まるまちを創造していきます。</p> <p>そして、市民一人ひとりが、将来にわたって、いきいきと安心した生活を送れるように「やさしさ」を育むことにより、ともに支えあい、誰もが人間らしさを実感できるまちをイメージしています。</p>

第4案	恵まれた自然と文化の中で、心豊かに暮らせる北播磨の拠点都市
	緑の山々や清らかな水などに恵まれた自然、また、そこに息づく歴史と伝統により育まれた文化など豊かな地域資源をあらためて認識をし、その中で、市民ひとり一人が生きがいとやすらぎを実感しながら、心豊かにいきいきと暮らすことができる北播磨の拠点都市をめざします。

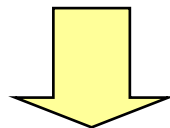
策定の視点

<p>小委員会のワークショップであげられたキーワード 別紙のとおり</p> <p>新市の特徴・特性が表現されているもの 例：豊かな自然、地場産業（播州織）、黒田庄牛</p> <p>基本理念を統合したイメージのもの 参画と協働、人間性の回復・共生、融合・活力</p> <p>将来を見据えて、めざすべきまちの姿のイメージにあうもの 例：人を主体にとらえる、安心感、共生、循環型社会</p> <p>言葉が美しいもの（ゴロ、長短） 例：～ のまち にしわき ～北播磨の 都市</p>

サブタイトル

将来像を補足するため、つけることも可能。

例：～次世代につなぐ 持続可能な地域社会の創造～
他に、「まちづくりのキーワード」などを使い、作成することも可能



今回、決定した将来像（案）【協議会提案】

参考

【まちづくりのキーワード】

前回小委員会で出された西脇市・黒田庄町のまちづくりのキーワード					
自然、環境、循環型社会、有機農業	自然環境を活かしたまちづくり	自然環境	自然	環境	加古川 清流に戻したい
	水	里山	緑	土づくり	有機農業
	有機の里	循環型社会	資源循環型	循環型社会構造	恵み
	共生	癒しの風景			
支えあい、地域コミュニティ、自治、協働	地域	地域自治	コミュニティ	参画	分権
	小さな本庁 大きな支所	官民一体型の地域づくり	協働	住民に対する行政サービス強化(行政と住民のコミュニケーションをはかる)	競争の時を越え今支え合う社会
	支えあう				
健康、福祉	高齢者	福祉の充実	子育て支援(青少年の育成)	子育て	健康
地域資源、特産物	へそ	日本のへそ	北はりま田園空間博物館	黒田庄牛	播州織
	地域資源	特産物で日本一を目指す			
人、心	心豊かな 思いやり	心ふれあう街 安らぎ	心豊かな街	ひと	ひとの豊かさ
	工芸都市	市財源確保を 税収以外で いかに行うか	輝く	温暖穏やかな 気候	隠れた観光 開発
その他	個性	魅力	活性化	元気	生活レベルで 格差の少ない 共存共栄を 重視すべきだ
	共存・共栄	情報の共有	連携	文化	生活環境
	歴史	潤い	命	融合	めぐる
	個性あふれる	うるおい	包まれる	いきいき	きらきら
	共鳴	つなぐ	いざない	ゆめ	実感
	共創	創生	共感		

網掛けは WS で出た新しいキーワード。太字は WS で強調されたキーワード。

【キャッチフレーズ】

前回小委員会で作されたキャッチフレーズ案			
水と緑	北播磨の人と文化が	織りなす	田園都市
豊かな自然		育む	
豊かな風土			
豊かな土壌			
命を大切に するへその街			
自慢のできるまちづくり			
加古川に育まれた人間性豊かな田園都市			
水・緑・ひとが輝く共生のまち			
日本のへそ豊かな自然が織りなす安心の町			
ひと、豊かな自然、歴史と文化織りなす交流の町			
ひとが輝き、自然と共生協働で地域が輝くまち			
高齢者にやさしいまち			
自然との共存を目指したまちづくり			
安全で安心して暮らせるまちづくり			
人と自然にやさしい環境づくり			
人と自然にやさしい環境づくり自然の融合するまち西脇			
自然と人との共生のまち西脇市			
大地の恵みと心のかよう豊かな都市			
心のタスキでつなぐ明るい未来			
川の流れの豊かさと、人の心の豊かさがうれしいまち			
ご縁って不思議ですね、西脇が好きです			
いのちイキイキ 自然キラキラ 共生のまち 西脇			
人が輝き 集い 未来を創る 感動(共生)のまち 西脇			
< 事務局・コンサル案 >			
心豊かな人と 自然豊かな加古川に育まれた 北播磨の田園共生都市 ～次世代につなぐ(をつくる) 持続可能な地域社会の創造～			
< に・し・わ・き >			
にんげん味あふれる心豊かなまち			
しぜんとともに生きる共生のまち			
わくわくするような出会いと発見のまち			
きぼうにみちた可能性がひろがるまち			
人と自然が融合する 日本のへそ 共存共栄都市 西脇			
自然が踊り 人が集い まちが歌う			
人いきいき！自然きらきら！ 個性あふれる協働のまち			
人が輝き 未来を創る			
人の心があたたかい 緑の風とやさしさにあえる			
人集う 心が和む 技光る やさしさにあえるまち にしわき			
人が輝き 未来を織りなす 元気都市			
心あたたまる協働のまち			

網掛けは WS で出た新しいキーワード。太字は WS で強調されたキーワード。

まちづくりの理念について

新しく誕生する西脇市の将来像を『』と定め、その実現をめざし、3つのまちづくり理念を定めます。

【将来像】

『 ~ 』

20世紀の飛躍的な工業の発展は、物質的な豊かさをもたらし、私たちの生活は一変しました。しかし、社会の成熟化とともに、少子高齢化、情報化、国際化などこれまで想像しえなかった大きな社会環境の変革の波に、私たちは直面しています。

一方で、私たちは、画一的な「もの」優先の生活に疑問を抱き、より人間らしく生きようとする欲求が高まり、真の意味での「こころ」の豊かさを求めるようになってきました。

このような中、西脇市と黒田庄町が合併し、新しい「西脇市」が誕生します。

私たちは、「人間らしさが実感できるまち」をめざし、物質的な豊かさを享受しつつ、人と人、人と自然との共生の中で、互いを思いやる心や支えあい、助けあう心を持ったあたたかさや活力ある経済に支えられた文化の薫り高い豊かさが実感できる、そんな新しいまちを未来に向かって創造していきます。

将来像が決定後、上記の内容を修正し、書き込んでいきます。

【まちづくりの理念】

まちづくりの理念は、主要課題に対応していく施策展開の基礎となるもので、新市のめざしていく姿をあらわしたものです。これに基づいて将来像を設定していきます。

活力あふれる元気なまちをめざします。

地域に生きる一人ひとりが、自立して個性と能力を発揮しながら、「個」としての役割に意義を見出し、活動することで生きがいを実感できるような元気なまちづくりを進めます。また、両市町がこれまで培ってきた互いの伝統、産業、自然など地域資源の融合を図り、循環を促進させていくことで、経済の活性化や文化の振興に努めます。そして、地域の持つ潜在能力を最大限に引き出し、これまで以上に活力あふれる元気なまちを創造していきます。

安心して暮らせる共生のまちをめざします。

人と人のつながりやふれあいを尊重し、思いやりの心、支えあい・助け合う心を育み、真の心の豊かさとやさしさが実感できるまちづくりを進めます。また、私たちに癒しを与え、暮らしを支える豊かな自然を次代に継承していくために、自然環境の保全と循環型社会の構築を進めていくことで、人と人、人と自然が共生を図り、安心していきいきと暮らすことができるまちを創造していきます。

市民主導による参画と協働のまちをめざします。

私たちが私たち自身の生活や地域の身近な課題を解決していくことができるように、「市民力」を高め、自立したコミュニティの形成に向けたまちづくりを進めます。そのため、市民、企業、行政などまちづくりに関わる多様な主体が、それぞれの役割を認識し、連携を図りながら、新しい時代にふさわしく、既成概念にとらわれないまちづくり活動を展開していくことで、市民主導による参画と協働のまちを創造していきます。

新市まちづくり計画の基本方針（体系図）

